



いっ 巖のしらかし

《白檀中学校だより 第14号》

令和7年1月9日発行

文責:校長 西村 拓司



ホームページ

新年 明けましておめでとうございます。

昨年末に、ふと正門のそばの看板(右写真)を見て、この1年間を振り返り、いろんな関係の方々からご支援をいただいたと改めて感謝の思いが込み上げてきました。この白檀町の人々の温もりというのを感じた1年となりました。心よりお礼申し上げます。

さて、いよいよ3学期が始まります。3年生にとっては、進路を決める大事な学期であり、卒業までのカウントダウンとなります。1、2年生にとっては、進級に向けての準備をする大切な学期でもあります。

一人ひとりが、一年間の成長を振り返り、決意新たに目標を持ってスタートできる3学期にしてほしいと願っています。始業式では、次のような話をさせていただきましたので、ご紹介させていただきます。



「努力に勝る天才なし」

(1月7日始業式校長式辞)

いよいよ3学期がスタートしました。「1年の計は元旦にあり」と言われるように、新年を迎えるにあたって、みなさんもいろいろと目標や計画をたてて決意を新たにしていることと思います。

さて、みなさんは、冬休み、年末年始をどのように過ごしましたか。私自身は、お正月はいつもテレビで箱根駅伝の中継を見ていたのですが、今年は、現地の東京に行く機会がありましたので、日比谷で、箱根駅伝の復路10区の様子を見ていました。現地は沿道の人々の数がびっくりするほど多いというのが感想で、警察による交通規制があらこちらで敷かれていました。それとともに、各大学の応援団がのぼりを持って声援したり、吹奏楽の演奏をしたりしていて、その賑やかさも凄かったです。また、テレビでははっきりと聞き取れないのですが、現地に行くと、ランナーの後ろから車に乗った監督が、スピーカーフォンで選手に指示やアドバイスを送っており、その内容を聞き取ることができたのも新たな発見でした。各大学のそれぞれのランナーは、代表選手としていろんなものを背負って、チームとして戦っているということがとてもよくわかりました。

結果は、青山学院大学が総合優勝しました。この10年間で7回目の総合優勝だそうです。この結果を出すまでには、並々ならぬ努力があったことと思います。今日は、その「努力の大切さ」について、みなさんに次の言葉を贈ります。

努力して成功すれば、それは自分の「自信」につながる
努力して失敗しても、それは「よい経験」につながる
努力しないで成功すれば、「うぬぼれて天狗」になる
努力しないで失敗をすれば、次は「やる前からあきらめる人生」となる

『努力に勝る天才なし』という格言の通り、努力するプロセスを大切にすることがいかに大切かということをお教えてくれる言葉かと思います。

それでは、みなさん、3学期は、この1年間の成長を確かめ締めくくる大切な学期でもあり、3年生にとっては大事な進路を決定する学期でもあります。「努力することの大切さ」を胸に、この3学期、ともに頑張っていきましょう。私自身も自分に言い聞かせるつもりで、努力を大切に頑張っていきたいと思っています。

1995年 あれから30年 - 『阪神淡路大震災』

昨年の日本は、元旦早々に、能登半島の石川県を中心とした大きな地震がありました。津波が発生し、倒壊した家屋も多数確認され、火災に巻き込まれた人も数多くいました。この30年を振り返ってみれば、日本には数多くの大地震が発生しています。

【新潟中越地震】2004年10月23日 新潟県中越地方を震源とした直下型地震。震度7を観測

【東日本大震災】2011年3月11日 三陸沖を震源とする超巨大地震。宮城県で震度7を観測

【熊本大地震】2016年4月14日 熊本県熊本地方を震源とする巨大地震。震度7を観測

【北海道大地震】2018年9月6日 北海道胆振地方中東部を震源として発生した地震。震度7を観測

今回は、1995年に発生した阪神淡路大震災について簡単に紹介します。

【阪神淡路大震災】1995年1月17日、午前5時46分に阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)が発生。

震源は、兵庫県の淡路島北部沖の明石海峡付近でした。震度はマグニチュード7を記録、直下型地震で特に震源地に近い神戸市街地に甚大な被害が発生しました。6,400人を超える犠牲者のうち、8割が家屋の倒壊によるものでした。また、被災者31万人が避難所生活となりました。地震発生に伴い火災が発生し、市街地では家屋をはじめ道路や鉄道は甚大な被害を受け、ライフラインの復旧が遅れ、避難所での生活が過酷なものとなりました。被災した人達は、ボランティアの方々の救援・援助活動に助けられ、この過酷な状況を乗り切りました。

ちょうど地震が発生したその時、私は檀原市内の中学校で美術の教諭として勤めていました。その時の奈良県北部は震度4、京都で震度5が観測されました。その日の朝、不安な面持ちで出勤し、教職員で各教室の様子を見回ったこと、美術室では棚の上に置いてあった石膏像が落下し、その飛び散った破片を片付けたことを今でも鮮明に覚えています。そして、テレビの映像から流れる倒壊した建物や倒壊した阪神高速道路、そしていたるところで火災が発生しており、その脅威に絶句しました。

災害はいつも突然にやってきます。この阪神淡路大震災も、それ以外の地震も、これからも起こり得る教訓として学ぶところがたくさんあります。災害が訪れた時に慌てず落ち着いて対処できるような備えをしたいものです。



《 家庭の災害備蓄品リスト 10 の必需品 》 引用:NHK 防災 HP

- ① 水 ② 食料 ③ カセットコンロ
- ④ スニーカー・(手袋・タオル)
- ⑤ 充電式の掃除機 ⑥ 携帯ラジオ
- ⑦ 懐中電灯(ヘッドライト) ⑧ 携帯トイレ
- ⑨ 水のいらないシャンプー ⑩ スイーツ缶

